

焼酎バイオエネルギー事業 地域課題を、資源循環の価値へ

株式会社穴吹ハウジングサービス バイオエネルギー事業部
宮崎大学工学教育研究部

二渡 一紀
宮武 宗利

株式会社穴吹ハウジングサービスでは、焼酎製造時に発生する「焼酎廃液」を資源として有効活用し、バイオエタノール（エネルギー）と日南バイオリソイル（土壌改良材）を生み出す循環型事業に取り組んでいます。

事業の背景

宮崎県は全国有数の焼酎生産地ですが、焼酎製造の過程で発生する廃液の処理には多くのコストと環境負荷が伴います。私たちは、この「廃棄物」とされていた資源に着目し、2017年から宮崎大学と産学連携で地域の産業や農業を支える新しい価値へと転換する取組を進めています。2021年から産業廃棄物中間処理施設として事業を開始しました。

日南工場は、焼酎産業・エネルギー・農業をつなぐ地域循環の拠点として運営されています。

社会的評価

本事業は、地域資源循環や環境負荷低減への取組が評価され、各種認定・受賞をいただいています。

- エタノール製造技術特許取得
- みやざきリサイクル製品認定(日南バイオリソイル)
- 有機 JAS 資材リスト登録(日南バイオリソイル)
- 令和5年度 新エネ大賞 新エネルギー財団会長賞受賞（エタノール製造技術）

目指す未来

焼酎バイオエネルギー事業は、単なる廃棄物処理事業ではありません。

焼酎産業が生み出す副産物を「エネルギー」と「農業資材」へと再資源化し、地域内で価値を循環させることで、持続可能な社会づくりに貢献しています。

今後は、研究開発の推進、エタノール製造においては、宮崎県産業振興機構「環境イノベーション支援事業」の支援を受け、エタノール製造技術の向上やサツマイモの他に糖廃液を原料とした焼酎廃液からエタノールを製造する技術開発、製造の能力の向上と販売を目的とした研究を行い、土また壤改良材をはじめとする農業資材の開発、設備モデルの展開などを通じて、宮崎発の循環型ビジネスモデルとしてさらなる発展を目指しています。

バイオエタノールと日南バイオリソイル製造工程

